

教育大綱（素案）に係る意見聴取結果概要

〔実施状況〕

- ・パブリックコメント : 27件 (10月6日～11月5日)
- ・教育関係者の意見聴取 : 33件
- ・市町村への意見照会 : 18件

1 大綱の内容に関する意見 33件

(主な意見)

- 基本目標1について、「確かな学力の育成と多様なニーズに対応した教育の推進」とするべき。
- グローバル社会で活躍するためには、日本の伝統・文化の尊重、国と郷土を愛する心の涵養も必要。
- 大学との連携促進について、学習面の連携に関する記述も必要。
- 情報教育の推進について、昨今のインターネット上での悪口等に対応するため、「情報モラル教育」という表現を打ち出すべき。
- 家庭と地域の連携強化について、「学校」との連携も必要。
- 食育の推進について、家庭における食生活の改善も必要。
- 生涯学習、文化芸術の振興について、「伝統文化」に関する記述も必要。
- 魅力ある教職員の育成と安全・安心な教育環境づくりの推進について、「教職員の多忙化の解消」といった視点も必要。
- 修学支援と学びの再チャレンジについて、自治体やNPO等との連携を記載すべき。

(対応)

- 意見を踏まえ、必要な修正、追記等を行った。

2 事業の提案や要望 11件

(主なもの)

- 特別支援教育の充実について、就労支援に力を入れてほしい。
- キャリア教育、産業教育の充実について、小中学校時代から将来の仕事を考えさせる環境づくりをしてほしい。
- 移住・定住を進めるためにも教育環境を充実させてほしい。
- 少子化＝廃校にならないよう、高等学校の特色、魅力づくりを進めてほしい。
- 木育について、各学校に木のおもちゃを備えることや木育を行える場所（森林）の整備を進めてほしい。
- 子どもたちに対し、地域の大人と連携した遊びの場を提供できるとよい。
- 高齢者と青少年の交流の場を設け、健全な青少年の育成環境づくりを推進してほしい。
- 民間企業との人事交流等により、社会への適応力の高い教職員を育成してほしい。
- 教員採用試験の倍率が低いため、志願者数の確保に努めてほしい。

(対応)

- 施策を推進する中で対応できるものとして整理。

3 大綱の趣旨に賛同する意見 21件

4 軽微な修正に関する意見 13件